

社協のマークです



福祉の心を育てよう

社協 尾崎支部だより

No.23

平成12年8月1日発行

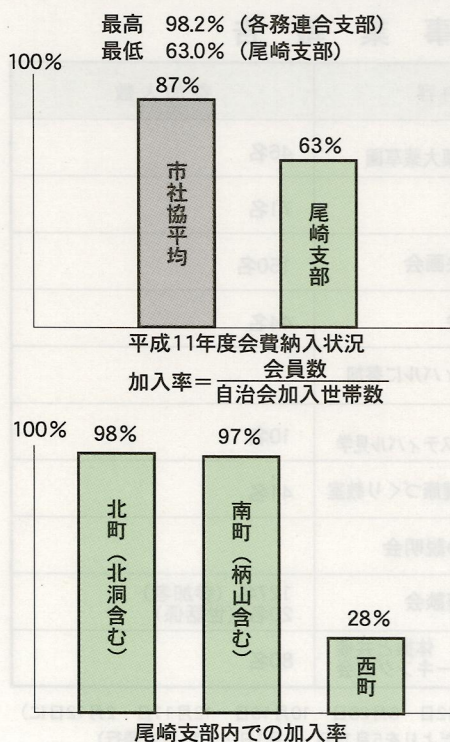
各務原市社会福祉協議会

尾崎支部広報委員会



介護講習会 6月13日

あなたのお力を貸してください！12年度会員募集中！



社会福祉協議会の会員になりましょう。
 今年8月は社会福祉協議会の会員募集月です。尾崎支部の昨年度加入率は六十三%でした。この加入率は十七支部の内最下位で、ちなみにラストから二位は七十三%で、全市の加入率は八十六・八%です。なぜ尾崎支部の加入率がこんなに低いのでしょうか。当支部の居住者の福祉への関心は、日頃の皆さんの様子や福祉デーに参加して下さった人数からみて、そんなに低いとは思われません。

社会福祉協議会への関心を加入と言う方法で表現してみましよう。これは、他人のためでなく、自分のため家族のために、日本に住む人は一つの家族と考えて、お互いに家族愛で助け合う心になって加入しましょう。そうして最下位を脱出しましょう。

福祉への関心度を示そう

支部長 水谷重喜

民生児童委員名簿（敬称略）

氏名	住所・電話	担当地区名
よこやまひでお 横山日出男	TEL83-4079 那加北洞町1-187	北洞町
せぐちさよこ 瀬口佐用子	TEL82-0151 尾崎北町1-86	尾崎北町1丁目 尾崎西町B1~4
ありがやすし 有我尉	TEL89-1098 尾崎西町1-3 B852	尾崎西町B5~10、C9
やましたたかし 山下孝	TEL83-8430 尾崎南町2-52	尾崎南町1丁目 柄山町 尾崎西町A1~4
おおはしさちこ 大橋祥子	TEL83-9732 尾崎北町4-50	尾崎北町3丁目 尾崎北町4丁目 尾崎北町5丁目
やましたゆきこ 山下幸子	TEL89-2230 尾崎南町6-34	尾崎北町6丁目 尾崎北町7丁目 尾崎南町5丁目 尾崎南町6丁目
たんげときこ 丹下時子	TEL83-9736 尾崎南町3-63	尾崎南町2丁目 尾崎南町3丁目 尾崎南町4丁目
たかせちえ 高瀬智恵	TEL82-0344 尾崎北町1-11	尾崎北町2丁目 尾崎西町A5~6、A13~16
かのうしんいちろう 加納新一郎	TEL83-2818 尾崎西町5-18	尾崎西町A7~12 財務局合同官舎1~3
しんむらしげのぶ 新村重信	TEL83-0141 尾崎南町1-55	尾崎西町C5・6、A17~20
かまだあいこ 鎌田愛子	TEL82-8646 尾崎北町4-16	尾崎校区 (主任児童委員)

「参加意識」をたかめて
 活動を盛り上げて下さい
 事務局長 酒向猛夫

支部社協に限らず自治会や各種団体の役員の方々は、自分の本来の仕事を抱えて、そのかたわら任期中はなんとか、お役にたきたいと頑張っています。

ところがそれが仲々……そこで皆さんに尾崎の住民として、無関心・傍観者でなく「参加意識」を持って、役員を叱咤激励活動を盛り上げて欲しいと思います。

諸活動の呼びかけについては、支部だより・ミニ支部だより・その他随時書面で回覧又は全戸配布を行っています。

世はまさにこれら情報の洪水時代で、いささか活字疲れの傾向がありますが、「僕らが社協のこと」と位置づけ、必ず眼を通していただきたいと存じます。そのためには親しみのある、見易く、わかり易い資料であるよう努力 と思っています。

「ふれあい事業委員長 遠藤智一」

社会福祉協議会のお手伝いを始めるに当たって、「自分には、何が出来るのか」と不安でした。私自身は、頭脳的なことは不得手なので、肉体的な面で協力出来れば、と腹を決めて毎回毎回参加出来ることにしました。

一、二度、三、四度と継続して参加している内に、どの役割を手伝えれば皆様の足手まといにならずにすむか分かってきて、自発的に手伝い出来るように成るものですね。

一人の力は、一人分の力量しか発揮出来ませんが、十人、二十人となると、その力は大きく、三十、四十人の力量を出すことが出来ます。

皆様方の御理解を頂き、一人でも多くの方の参加を希望したいものです。

啓発委員長 伊藤俊徳

イベントが行なわれると、必ず入場者の数が発表され、多ければ「大成功」と受け止められ勝ちで、主催者は人出に神経を使います。社協の行事もそんなに多くの参加者があるわけではありません。先日実施した「第七回福祉デー」もバザーには沢山の人が集まりましたが、福祉講演は一握りの聴衆にすぎませんでした。委員長として責任を感じつつ、本来社協の行事は、ワーッと人が集まるような内容でありませぬので致し方ないことだと思っております。負け惜しみではありませんが、私出人出が少なくても、参加者に満足を与えることができたら、その行事は由と考えております。これからも数だけに捕われず、内容優先に考えて行ないますので、みなさまの一層のご協力をお願いします。

福祉活動に参加しよう
 支部長 水谷重喜

社会福祉協議会の活動は役所や役員だけが動くことではなく住民全員が「思いやりの心」によって「ふれあうこと」だと思えます。

福祉という言葉に、なじみがなく育って来た人が殆どだと思えますが、何か難しい事をしなければと構えてしまいがちですが、優しい心で人に接すれば、自然に福祉の心が育っていくものです。

皆さん、他人ごとではなく自分がそうならなければと言った気にならずに社会福祉協議会とお付き合い下さい。

皆さんから頂戴した会費は、自治会を通して市の社会福祉協議会へ納入されます。その納めた会費の四十%は支部の活動費として戻って来ます。また、市の社会福祉協議会で指定した行事を実施すると定められた補助金が交付されます。昨年度の補助金の総額は七六〇、四三三円で、おさめた会費の八十二%に当たります。このように会費を有効に使って、福祉活動に参加しよう、その入門課程として支部活動に参加して福祉への理解を深めましょう。

尾崎支部福祉デー 平成12年6月18日(日)



健康相談 健康のチェックと相談

渡辺先生ありがとうございました



講演会

演題「社協が担う在宅福祉」



フリーマーケット



野菜朝市



バザー

バザー御協力ありがとうございました。39,660円の売上げがありました。



三世代ふれあい広場

ひこうきうまくできるかな

山登りをおりがみで作る

平成11年度 尾崎支部決算報告

＜収入＞				(単位円)
科目	決算額	予算額	備考	
交付金	370,000	350,000	会費納入額の40%	
メニュー事業助成金	390,433	360,000	支部だより歳末福祉座談会等	
雑収入	6,331	1,000	預金利子等	
繰越金	501,011	501,011	12年度上半期準備金	
合計	1,267,775	1,212,011		

＜支出＞				(単位円)
科目	決算額	予算額	備考	
会議費	91	20,000	総会2回分	
会議費	2,494	20,000	理事会等	
小計	9,985	40,000		
事業費	291,628	180,000	高齢者等対象	
支部だより発行	81,900	200,000	支部だより1回発行	
福祉デー	63,693	100,000	謝礼金等	
施設訪問	39,972	100,000	美谷学園・岐阜薬大薬草園	
親子ふれあい映画会	34,020	30,000	支部負担金	
尾崎緑風会	20,000	20,000	記念品代	
北洞長生会	20,000	20,000	記念品代	
健康づくり教室	13,825	30,000	数回実施	
その他費目	29,192	158,000	介護講習会他	
小計	594,230	838,000		
事務費	33,504	50,000	資料作成等	
写真費	9,848	20,000	フィルム・プリント代	
その他費目	2,863	50,000	用紙・封筒等	
小計	46,215	120,000		
予備費	0	214,011	12年度上半期の準備金	
合計	650,430	1,212,011	くわしくは役員までお問い合わせ下さい。	

※金額の小額な費目はスペースの関係で合算してあります。



献血

献血者63名

平成11年度 事業報告

年月日(曜日)	事業内容	参加人数
6月28日(月)	施設訪問 美谷学園・岐阜薬大薬草園	46名
7月16日(金)	介護講習会	71名
7月21日(水)	親子ふれあい映画会	150名
7月24日(土)	地域福祉座談会	44名
10月17日(日)	おざきフェスティバルに参加	
10月31日(日)	他地区との交流 鷺三ふれあいフェスティバル見学	10名
11月10日(水)	高齢者のための健康づくり教室	41名
11月22日(月)	介護保険制度の説明会	
11月28日(日)	歳末地域福祉座談会	127名(参加者) 20名(世話係)
平成12年1月16日(日)	健康づくり教室 体振と共催 尾崎団地内ウォーキング大会	80名

この他に、尾崎林政会と緑化活動を実施(4月17日・6月12日・8月28日・10月16日・12月11日・2月12日)に
8月1日 社協尾崎支部だより22号発行(ミニだよりを5月15日・9月1日・1月1日に発行)

趣味を生かそう

中高年登山者の集いを

副支部長 鈴木釘夫

四月より自治会代表として副支部長の重責をお任せられ、高齢化社会の中で福祉の重要性をひしひしと感じています。こうした高齢化社会の中で尾崎校下では、中高年者による趣味を生かした各サークル活動が「ふれあい会館」を中心に活発に行われていることは大変喜ばしく、尾崎の誇りであると思えます。

また最近、自然志向の高まりから自然との触れ合いを求め、低い山から標高三千メートルの北アルプスを目指す中高年登山がブームとなつています。中高年登山者の増加に伴い遭難事故も多発し、昨年岐阜県下で五十二名の事故者が出ましたが、その内八十%が中高年者となっております。このように高齢者登山の事故が年々増加していることは憂慮すべき問題です。尾崎にも山登りを楽しんでおられる方も多くおられます。今年には尾崎自治連合会創立二十五周年の節目に当たります。これを契機に山の愛好者による集いを開き、安全で楽しい山歩きと、親睦を図るグループを目指したらいかがかと思えます。

尾崎社協への御寄付ありがとうございました。
渡辺一敏様(南町)一〇万円
体育振興会様一万二千二百円